

県民の皆さんへ



「教育とは世界を変えるために用いることができる最も強力な武器である。」
南アフリカでアパルトヘイト（人種隔離政策）と戦った人権の闘士、ネルソン・マンデラ元大統領の至言です。

教育は子どもたち一人ひとりの可能性を「開花」させ、来るべき時代を「生き抜いていく力」を育み、人生を豊かに輝かせる営みです。また、教育は一人ひとりの個性・能力が社会参画というかたちで咲き誇ることをとおして、社会に発展という「実り」をもたらす創造的な活動です。

このような営みの積み重ねを通じて社会を変革し、世界を変える力を教育は持っています。子どもたちの教育に携わる私たちの使命と責任は、誠に重いと言わざるを得ません。

三重県は、教育・人づくりを最も重要な政策分野として取り組んでいます。平成27（2015）年度から、私と教育委員会で構成する「総合教育会議」において、本県の教育を取り巻く諸課題について協議を進め、このたび、三重の教育の基本的な方針や教育施策を示した「三重県教育政策大綱」を策定しました。

「三重県教育ビジョン」は、この大綱をふまえたうえで、今後4年間の具体的な教育施策の取組内容や数値目標を定めた計画であり、三重県の教育の指針となるものです。

本ビジョンの副題に掲げている“子どもたちの希望と未来のために”取り組む教育は、そのまま三重県の希望と未来へ通じる道です。教育関係者のみならず全ての県民が、「毎日が未来への分岐点」という思いで、それぞれの役割を果たし、子どもたちの希望と未来のために取り組んでいこうではありませんか。

平成28年3月

三重県知事 鈴木英敬

子どもたちの希望と輝く未来の実現に向けて



変化の激しい社会において、教育そのもの、また教育を取り巻く課題は多岐にわたっています。いじめや暴力といった問題に加え、不登校、教育格差と貧困の連鎖、少子化が進む中での学校教育のあり方など、複雑に絡み合いながら課題が深刻化しています。

国においては、教育課題に対応するための改革が矢継ぎ早になされており、平成 27（2015）年度には約 60 年ぶりと言われる教育委員会制度の大きな改革が行われたところです。

このように教育を取り巻く環境が変化するなか、10 年先を見据えた三重の教育のめざす姿とその実現に向けた取組内容および目標を示す中期計画として、「三重県教育ビジョン」を策定しました。

このビジョンでは、基本理念として「三重の教育宣言」を掲げ、その中で“子どもたちは、一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、誰もが無限の可能性を持っています”と示しています。

「教育は子どもたちの心に灯をともしこと」であると言われます。教職員をはじめ周囲の大人が、子どもたちを信じ、寄り添い、情熱をもって心を通わせる中で、希望の灯をともし、やる気にスイッチを入れることが大切です。

このビジョンは、“子どもたちの希望と未来のために”という、県民・保護者・教育関係者等の熱い思いを込めて作り上げた計画です。ビジョンの実現に向けて、全ての県民の皆様と共に汗を流し、全力で取り組んでまいります。そして、子どもたちが学校・家庭・地域でいきいきと学ぶことのできる三重の教育にすることを肝に銘じ行動してまいります。

このビジョンの策定にあたり、2 年間にわたり審議いただきました三重県教育改革推進会議の委員の皆様、貴重なご意見をいただいた県民および教育関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

子どもたちは我々大人を見ています。

ビジョンの策定はチャート（海図）であり、目的地（子どもたちの希望と輝く未来の実現）に向かって、今からがスタートです。

平成 28 年 3 月

三重県教育委員会教育長 山口千代己